

H17_ 公園緑地の安全管理方策に関する調査その2

調査項目	公園緑地の安全管理方策に関する調査その2
調査年次	平成17年度(5次調査) 章番号〔 〕
目的	各都市公園事例から現状の取り組み状況を知ることと、警察や市民、民間企業等、公園以外の取り組み事例を収集し、今後の対応策検討の参考資料とする。
概要	公園部局へはアンケート調査を行い、公園以外の事例はインターネットの検索及び書籍による整理を行った。
結果	<p>政令市の公園部局における防犯への取り組み状況</p> <p>防犯に対応した組織づくり等の全市的な取り組み状況 公園・緑地部局として全市的な防犯組織に関わる都市は少ない。</p> <p>公園運営のための組織の状況 公園運営組織として公園愛護会が積極的に関与している。社会状況の変化に対応した住民参加による新しい運営制度の導入に取り組んでいる都市もある。公園の利用促進のための組織があると回答した都市では、公園利用がより一層図られることで多くの人が集まり、間接的に防犯効果が高まることが認識されている。</p> <p>具体的な公園の防犯への取り組みの状況 施設の施錠を行っている都市は約6割。防犯対応としては「照度の確保」「樹木剪定」など暗がりの解消や見通し確保のための自助努力と、「安全巡回」や「防犯モデル事業による通報装置の設置」など他部署との協力によるものがある。</p> <p>公園で発生した犯罪情報の把握状況 6割の都市でなんらかの形で把握されており、公園部局の防犯に対する意識化が図られている。</p> <p>防犯対応が必要な公園の事例 11都市の39公園の事例。このうち約8割が対応済み。立地する用途地域は約8割が住居系地域、約2割が商業地域。対応が必要な理由は、「住民要望」が5割強、「犯罪、人々の関心を誘う出来事」が3割半。住民の要望は「公園の見通し確保」「ホームレスの居住への対応」がほとんど。立地特性は、不特定多数の集まる「まちなかの住商混在地域」[新興住宅地]の順で多い。優先したい公園の機能は、「レクリエーション」。</p> <p>公園の改善すべき点 既に対応された項目は「外周植栽の下枝刈り」「公園照度の確保」の順で多い。今後予定している対応は、「ホームレスへの対応」「植栽の繁茂により公園の見通しの確保」の順で多い。防犯主手段としての組織的な取り組みは、「特にしていない」「警察へのパトロールの依頼」の順で多い。公園管理団体などの市民組織との連携は徐々に取り組みが行われている。</p> <p>防犯まちづくりに関する取り組み事例</p> <p>行政 防犯対策会議の実施・広報活動(警視庁)/防犯まちづくりHPの整備・関連調査等(国土交通省)/しずおか県防犯まちづくりカレッジ開校/大阪安全宣言による全府的取り組み/不審者情報マップと不審者情報提供(奈良県)/地域安全マップづくり(青森県)/メールによる公園への質疑受付(相模原市)/安全安心の地域づくりに関する議会答弁(滋賀県)/安全と防犯対策としての公園モニター設置(沖縄県)/土木事務所職員による巡回防犯パトロールの実施(横浜市)</p> <p>地域団体・住民等 地域ボランティア団体の活動例/子ども110番の家/子ども110番の駅/子供110番のバス</p> <p>その他 子ども達の安全読本、各種民間企業・団体等の取り組み/海外の事例</p>
課題	
調査結果の反映等	

調査項目 公園緑地の安全管理方策に関する調査その2

調査年次 平成17年度(5次調査) 章番号〔 〕

キーワード

管理運営、都市公園、安全、防犯部局、防犯まちづくり事例、犯罪情報把握

事例公園等

仙台市 七郷中央公園、

東京都 戸山公園、日比谷公園、砧公園、祖師谷公園、上野公園、

さいたま市 光が丘公園、与野中央公園、別所沼公園、荒川彩湖公園、新見沼大橋スポーツ公園、御獄公園

千葉市 千葉公園、千代ヶ丘第2公園

静岡市 城北公園

名古屋市 春岡公園、押切公園、裏塩公園、弥宣公園、池田公園、久屋大通公園、白川公園、富田公園、鶴舞公園、吹上公園、高柳公園、八劔公園、若宮大通公園、南郊公園、荒子川公園

神戸市 篠原公園、港川公園、吉尾公園、椿谷公園、学が丘公園

広島市 平和記念公園

北九州市 勝山公園、高見中央公園

福岡市 舞鶴公園